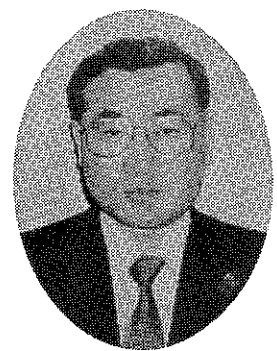


# 保 育 かな が わ

発行所  
横浜市神奈川区沢渡  
4の2  
神奈川県保育会  
発行人  
鈴木 萬 吏  
題字  
故 内山岩太郎 筆



神奈川県保育会の皆様には、日頃から保育事業の充実・向上に格別の御尽力を賜わり、厚くお礼申し上げます。

皆様ご承知のとおり、近年のあらゆる分野における女性の社会進出に伴い就業形態も多様化しつつあり、保育サービスは、よりきめ細かで質の高いものが求められております。それだけに保育所に対する県民の期待は、ますます高まるものと思われれます。あわせて、最近の子どもや家庭をとりまく状況は、昨年の一・五七ショック以来、今年も一・五三と出生率の低下に代表されるように大きく変化しているところであります。

さて保育所につきましては、昭和五十年代前半までの量的な拡充

## 保 育 の 多 様 化 へ の 対 応 を

神奈川県福祉部長 野村 靖夫

の時期を経過した後は、社会経済状況の変化に対応して、多様化する保育ニーズに 대응されるよう新たな機能を発揮していただいております。最近では、乳児、延長、障害児保育など特別保育事業の充実、地域育児センターの推進、一時的保育サービスの導入などに取組んでいただいております。

県では、今年度から第二次新神奈川計画の改定実施計画がスタートし、あわせてかながわ福祉プランの実施計画も改定し、子育て家庭への支援強化を重点政策に位置づけ保育サービスの充実を図っております。今年度の新しい取組みとして民間保育所での外国人児童の受入体制の整備に対する助成や、夜間における保育ニーズの実態調査を行っております。さらに地域育児センターにつきましても増設を図るとともに、機能強化の検討

こうした保育事業の新たな展開は、最近の著しい出生率の低下傾向を踏まえた「子どもが健やかに生まれ育つための環境づくり」推進という国民的課題にも対応するものであります。

現在、保育所は入所児童数の減少、保母の安定的確保のむずかしさなど運営上の問題を抱えておりますが、このような時こそ保育の存在意義を再認識させる絶好の機会であります。

県といたしましても、市町村と連携を図りながら今後とも保育対策の充実に努めてまいりたいと考えておりますので皆様の引き続きのお力添えをお願い申し上げます。

## 神奈川県保育事業大会

於神奈川県社会福祉会館

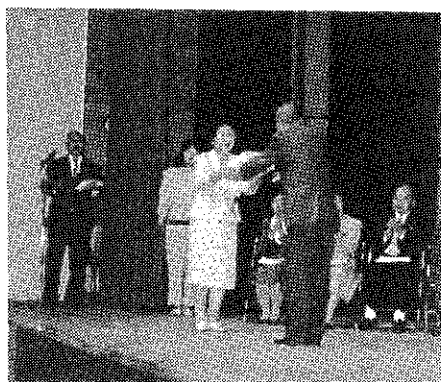
第二十五回保育事業大会が、保育会と保母会共催、神奈川県と社会福祉協議会、民間保育園協会のご後援により、去る五月十八日に行われました。

第一部は「花のおさなご」斉唱からはじまり、会長のあいさつ、一、二名の永年勤続者の表彰、来賓祝辞とつづきました。次いで保育会と保母会が総会を



開催し平成二年度の事業報告と決算、平成三年度事業計画案を審議し、それぞれ承認されました。

保育会では超高齢化社会が進む中で保育所を取り巻く社会環境は少子化現象に伴う定員割れや保育人材の確保等各地区の代表たる私の委員を中心に結束し、更に専門委員を加えて、児童の処遇、保育所運営全般において、市町村格差のないよう、又多様な保育ニーズ対処に努め、保育所づくりの体制整備や質の高い保育サービスに取り組む姿勢が必要であり、保母会では、保育指針が改定されて一年保育者の高度な資質が求められ、保育内容の充実が要求されている。子ども達の真の幸せを認識し、よりよい保育をめざして取り組んでいく必要がある、それぞれ組織の充実を目的とした新たな決意を



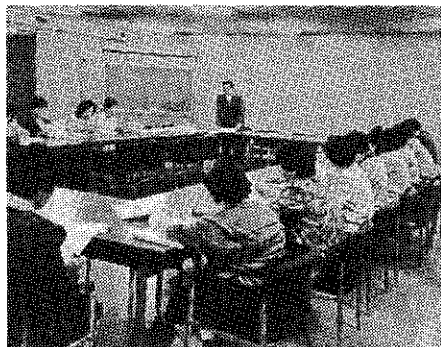
感じつゝ総会はおわり、午後から第二部の研究討議に入りました。子どもたちの現在と未来を育むために

保育所が創造する地域社会の子育てを主題に近年の社会経済情勢は家庭や地域社会に大きな影響を及ぼし、子ども達の成長発達に多くの課題を投げかけている。いま、保育所では新保育指針が示すとおり児童福祉施設として本来の役割はもとより地域に育つ子どもたちの現在と未来を健全に育むために、我々の果たすべき役割とその機能、保育内容について大いに

学びあうため、三会場にわかれ研究討議が進められた。

第一会場「児童福祉推進をはかる法人運営と機能強化」第二会場「保育ニーズの多様化へ対応する勤務形態と労働条件」第三会場「子どもの生活のあり方」と研究発表があり、きめ細かい内容で非常に勉強になり、盛んに質疑応答が行われ、又助言者の先生からも大変参考になる助言を頂き、今後の保育運営並びに保育内容に役立つと思われた。

終了後も、仲間と歩きながら議論し、家路についた。



### 第32回関東ブロック保育研究大会 子どもたちの現在と未来を育むために

千葉県鴨川市で開催

梅雨の合間の七月十日、十一日、十二日の三日間にわたって、輝く

太陽、黒潮踊る  
南房総鴨川市の文化体育館にて開催されました。一、五〇〇名を越える関係者が集い、最近にく盛大な大会でした。オープニングは、保母24名のコーラスで花を添えました。当地を舞台にして作られたという「月の沙漠」そして童心に返っていっしょに口ずさんだ、「証城寺の狸囃子」なごやかなひとときに、遠

方の友も心やすんだことでしょう。午後一時から開会式が行なわれ、



主催者を代表して沼田武県知事、鈴木民三県社協会長、大照堯弘県保育協会長のあいさつ、続いて、本多鴨川市長が、歓迎の言葉を述べ、関東ブロックの保育組織に功績のあった方々への感謝状の贈呈があつてから、来賓の祝辞が行なわれた。この後、総会に移り、前年大会処理報告と分科会運営について議長団が推挙された。「これからの保育所保育と地域の子育て」を演題に、岡田明星大

学教授の基調講演が行なわれた。保育所は、子ども達に様々な充実した体験をさせ、愛情をもってその成長をみつめること。それを親に伝えることによって信頼関係を深め、その積み重ねが、ひいては地域の親子から、地域の育児センターとして保育所が頼りにされることになる。と、この後地元神楽のアトラクションは、日頃の忙しい心と体を、三百年の昔にかえり、楽しいひとときを過すことができ、太平洋に沈む夕日の美しさに、驚き、地球は丸い等との声がかきた。二日目、この広い太平洋に向って建っている四つのホテルが各会場となり、十二の分科会場が設けられ、終日熱心な討議がくり広げられた。冷房のきかない場所では、冷茶のサービスに、ありがたい思いだっただ。神奈川県保育会からは、六会場にそれぞれ活躍されて、熱心な研究発表があつた。最終三日目、連続晴天の中、再び文化体育館に集い、静岡県の「子



どものおかれた環境」に関する実態調査報告があり、その後、「個性について」と題して、地元に住いの芥川賞作家近藤啓太郎氏の記念講演が行なわれた。良い絵をたくさん観て歩き力を貯える先生は、感覚（個性）がみがかれ絵をみる力が養われる。との内容で自分の着ている服の色に思わず反省した。次回は川崎市の当番です。こぞってお出かけ下さるよう挨拶があり、大会の幕が閉じられた。

# 今年の保育会

今年も再任・新任入り交じり、

保育会委員会がスタートした。会長ほか、役員・選任と委員の各専門部、委員会への所属が決り又、専門部員も加わっての強力な体制が整った。豊かな人間性を育むための保育の環境づくりにより努力してよりよい各部の前途を望みたいと願っている。

# 各部スタート

## 創造性と企画

### 総務部

我が総務部は少数部員ながらフル操業で事務局共々専門部委員会の活動をバックアップし、更に県所管内での統一的保育行政が実現される為又保育所の機能強化をめざして、それぞれの市町村に於ける情報を収集し、実情を整理して広くこれら問題に対するよう努力している。初めての事業として各市町村の児童福祉担当課長と保育会委員との懇談会を開き、意見の交換を企画実施した。

部長 富田 英雄

今年度後半期に入り、各種事業が展開されるが、強力にそのバックアップをすると共に、残された新期事業を遂行して行きたい。

## 問題意識と連携

### 公立専門委員会

昨年は県下の公立保育所の実態を調査し、新たに様々な状況を知ることができました。今年度はこの中から、問題点を拾い上げての改善策を考え、また現在問われている多様化した保育所へのニーズに対して、公立保育所としての一定方向が出せればと思っています。昨年は座間市が、委員長として、委員会の活性化に向けて、ご尽力されてきましたが、任期満了のため替りました。幸いその他のメンバーは変わらないので増々充実した会になるのではないかと確信します。

委員長 野田 重徳

役員となって二年目でありますが、皆様のご指導、ご協力をいただきながら頑張っています。

# 神奈川県保育会各部の紹介

部長 都築 融光

職員は資質向上を図る上で極めて重要で、保育所にかかわる人々即ち利用者、行政、一般住民の期待も大きい。このことを踏まえて過去の実績も考慮し本年度も次の研修会を開催する所存である。

◎保育ニーズの多様化や環境の変化等に対応できるよう幅広い研修を計画し毎年好評の園長研修。  
◎主任保母研修、調理員研修、西暦二〇〇〇年代の保育所を考える会等を考えている。この研修は将来の県内の保育所を担っていく若手園長及び次代の園長等が相互の意見交換の講師による学習会を継続して、その成果をもとに進めていく予定である。乞うご期待!!

## 資質向上をめざせ

### 研修部

職員は資質向上を図る上で極めて重要で、保育所にかかわる人々即ち利用者、行政、一般住民の期待も大きい。このことを踏まえて過去の実績も考慮し本年度も次の研修会を開催する所存である。

部長 渡辺 健司

調査研究部の役割としては、保育所がかかえる諸問題を調査活動とおして、的確に把握することにある。近年は人材不足が社会問題であるので、昨年はその問題を中心に設置者等を含む保育関係者の意識の高揚をはかることを目的に、養成校の協力を得て、学生の保育所に対する意識調査を実施し、「保育学生にとって魅力ある保育所とは」と題し、アンケート結果をまとめて、各方面から大きな評価を得た。その結果から保育実習期間中の体験が、保育所理解に大きな役割をはたしていることがわかったので、今年度は、実習生受け入れの為の調査研究を進める予定である。

### 調査研究部

## 旺盛なチャレンジ魂で

### 予算対策部

## 努力、努力でいこう

本年度も保育所制度の充実に関する九項目を衆参両院議長宛請願する事になった。  
一、保育所制度の充実強化  
二、措置費の改善  
三、乳児保育事業の充実  
四、マンパワー対策の充実  
一 事務職員の常勤化  
保母給与水準格付の是正  
労働時間短縮への対応  
保母の資質向上へ  
五、子どもの処遇改善  
3才児を15対1に  
六、特別保育事業の充実  
七、一時的保育事業の充実  
八、保育料の軽減  
九、施設整備制度の改善  
又本年度は特に保育需要に応えるべく各事業の補助についても県レベルの請願を行いたいと考えている。格別の御協力を!!

部長 都築 融光

本年度も保育所制度の充実に関する九項目を衆参両院議長宛請願する事になった。

部長 岩沢 貞吉

## 汗を流すことも大事

流動的な社会情勢の中で児童福祉に関わる正確な情報や各地域の細かい様子など様々な視点でお伝えできるようにメンバー一同頑張っている。定期的に各地区の納涼会の模様やふれ合い事業、或は相談事業など、少しずつお知らせして、その地区のぬくもり、状況など伝われば幸いと願っている。又出来れば、片側通行のみに終わらず、ご感想や「チョット聞いて」なんてスペースがとればもっと身近に触れてみたいものになるのではないかと感じています。創るよるこび、表現のよるこび、出来上がった時の充実感、いい汗を流す事も大事ではないか、部員一同がんばります。

### 広報部

このところ、保育所をとりまく様子が大きく変わってきたように思います。児童の出生率の低下や女性の就労形態の多様化等により、世の中が子育てに関する多様な保育サービスを大きく取り上げるようになってきた事に端を発すると思われませんが、保育所が地域の中の子育ての資源の一つであるという見方に変わり、地域の方々

が自分のニーズに合った利用の仕方を始めたように思えます。平塚市の西のはずれにある当保育所ですら着実に変化してきたことを強く肌で感じています。たとえば、(1)一時保育の問い合わせの理由の中に①幼稚園が休園の時、②スポーツの試合に出場の時、③習い事のある時、④夫婦で出掛ける時等があったり、(2)保健所の検診活動が充実してきて児童の様子が細かくチェックされ、そのケアの一部として保育所の集団活動に目が向けられ始め、当保育所でも

保護者から相談を受け現在二名の児童とかかわりを持っています。また、(3)地域の企業からは日曜日、祝祭日の保育の可能性について問い合わせがあったり、(4)希望の日だけ学童保育をしてほしい。とか、(5)入所の問い合わせの中に「嫉はやってくれますか。」のような親業を放棄するかのような質問がまず

最初に出てきたりしています。これらの状況を保育所側として、また、子ども側として見てみると、うなずける内容とうなずけない内容とがあります。すべてひっくり返してこれが実態であることを受け止めなくてはならないと思えます。そして、このような実態にどのように対応するかが今後の課題

ではないでしょうか。ここでフツと頭をよぎったのがマクドナルド方式でした。ニーズに合ったメニューを用意し

○何になさいますか。  
○希望日はいつですか。  
○時間はどうなさいますか。等々  
利用者が自分のニーズに合ったものを選んでいくというように、多

種多様の入所方法が目に見え、大きな不安とある種の寒気を感じました。しかし、利用者が保育所に最愛の我が子を預ける裏付けとして「安心」と「信頼」があるように思っています。そして、そのことが地域に密着した専門性の高い資源としての保育所の責任ではないかと思えます。この大きな期待に

# 西暦二〇〇〇年代の 保育所を考える

応えるために保育所運営全体をも一度見直し、対応できる基盤作りに最大限の努力をしていきたいと思えます。

以上のように、保育所だけ見てもこれだけの大きな変化が出てきていますので、福祉全体を総合的に見直すともっとニーズの広がりが考えられるのではないかと思えます。そこで、まず保育所に携わる職員の意識の変革と質の向上、そして質の高い人材の確保により良い環境作りをし、次世代を担う子ども達がしっかりと育つようにしていかなくてはならないと強く感じました。

金目保育園長 酒井かず子



# お泊り保育

報徳保育園長 栄 研三

毎年七月下旬に行うお泊り保育は、年長児を対象にした夏の最大行事です。何回もミーティングを開き、準備に充分時間をかけて、細密にスケジュールをねって、本番の日を迎えましたが、一番心配なのはお天気です。過去において台風が接近し、豪雨の中で一夜をすごしたこともありましたが、今年はどうにか天気に恵まれ、キャンプファイヤー、花火大会、お化け大会と、初日の夜をにぎやかに過すことができました。



夜は九時三十分消灯、すぐに寝つく子や興奮してはしゃぐ子等、保母さんの子守唄で落ちついて夢路に入ることができました。翌朝六時起床で始まり、ラジオ体操で、体をほぐし、お寺の本堂で法話を聞き、座禅をくんで、心を清めてから朝食。その後は、グループ別に昼食のカレーライス作りに入ってゆきます。

煮込む段階まで準備するのですが、日頃皮むきの道具等使ったことのない子達ですから、ゆっくりとしたペースで皮をむいていました。クイズ形式の宝さがし、六つの関所を通過して、隠された宝物、「おみやげの景品」を探す子どもの目は、真剣そのものです。

自分たちがつくったカレーライスを食べてから、荷物整理をして、午後一時に帰宅します。子どもの元気な姿を見て、ホッとする親の顔。職員も一大事を無事終えて安堵の胸をなでおろします。

# 地域社会の人々とのふれあい

座間市内保育園

星のきれいな夏の夜、座間市内の保育園では、園と保護者が中心になって、地域の人々、お年寄、園児の家族、卒園の子ども達が、園庭に集まり、にぎやかに

納涼大会を

盆おどりを

楽しみに

子ども達

で、喜んで

親腕自慢の

おでん、おにぎり

そしてジュース・スイカ等子どもの大好きなお店が

並びます。

おどり、

すくい・

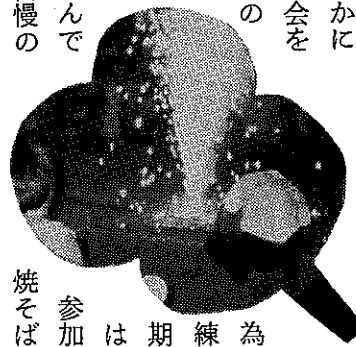
に父親有志

夏の夜の、

大勢の人々

地域の人々

共に楽しむ



致しました。

為の裝飾や、

練習したり、

期待していた

は、浴衣を着

参加します。父

焼そば、母親の、

アメリカンドック、

又、お化け大会や、盆

カラオケ大会・金魚

ゲームそして最後

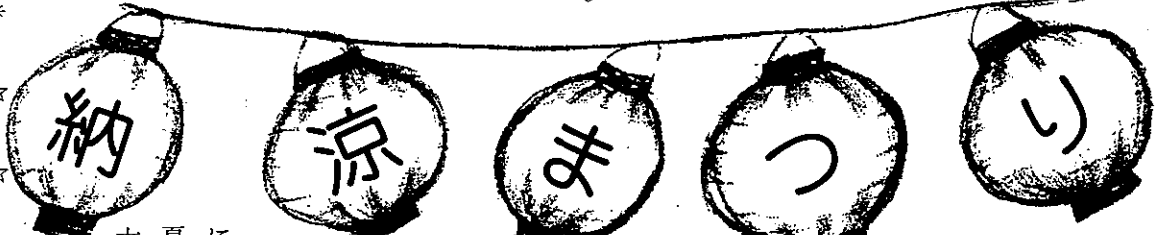
による花火大会・

ひとときを、

に出逢い

と

ことができました。



## 保育懇談会

かねての念願また課題であった

県下児童福祉担当課長と県保育会

委員との懇談会を遂に八月八日持

つことができた。参加者は県、中

村児童福祉課長以下四名、市町担

当課長十六名、県保育会二十九名。

テーマは、第一部行政から見た望

ましい保育所のあり方について。

第二部人材難時代の魅力ある保育

所づくりについて。富田副会長の

主催者挨拶、中村課長の来賓挨拶、

参加者自己紹介の後懇談会に移っ

た。第一部(市町側発言から)

①当市では最近定員割れ保育所が

増加、民間優先に措置(民間八十

八%)②零一歳児の入所増加傾向

保育確保対策として人材センター

検討中。③公私立保育所の役割分

担を考慮(周辺部は公立で)。

乳児・長時間保育の積極化。④民

間園への定員定額制(独自基準)

補助を実施中。民間保育所を「法

人立保育所」と呼んでいる。⑤本

年度県の英断による「一般経常費」

の大幅改善(級地格差是正)に伴

う増加分は民間園での給与改善、

処遇改善、人材確保等件費に充

当すべきもの。なお県中村課長か

ら一般経常費の改善は人材確保、

職員の定着が主眼である旨の説明

があった。県保育会側発言から

①当市は従来丙地域で隣市は特甲、

その格差大であったが今般経常費

の大幅改善で給料表を改定、平均

十六%増、嬉しいショック。

第二部。中村課長「保育実習受入

れを迷惑視している園もあるとの

ことであるが、あるとすればその

理由、原因は何か」との問いかけ

に対し県保育会側発言①八月の

公立保育所実習を断われ、当園

(民間)で実習。保母の多忙、保

母と実習生との世代ギャップもあ

る。②実習記録を書かず掃除も手

伝わない実習生もいた。その他県

保育会側の発言から①実習受入

れ中の七月下旬、室温三十八度の

猛暑、今時クーラーのない事業所

は珍らしく市ヘクーラー設置を要

望してきたが、未実現。これでは

実習生は保育所を敬遠してしまう

(公立)。②理事長、園長が理想

を掲げることが不可決。③養成校

(県下十二)に対し実習前の一週

間、福祉施設に飛び込み体験実習

を経たらよいと提言したい。養成

校が魅力ある学生(暖かくて他人

の痛みの判る)を園へ送り出して

くれることが魅力ある保育所づく

りのための重要な要素である(富

田副会長)。

◎会費改定のお知らせ

事業の強化を図るため、平成四

年四月一日から会費の改定を行い

ますので、よろしくお願ひします。

現行均等割 八、〇〇〇円

改定均等割 一三、〇〇〇円

(定員割は改定なし)

◎今後の事業計画

主任保母研修会

期日 十一月七日(木)～八日(金)

会場 二の平荘(宿泊)

大文字荘(研修)

保母の日前夜祭

十二月六日(金)

▽ご冥福をお祈りいたします。

元県保育会副会長

前山王保育園園長

都築 誠真様

平成三年五月十一日逝去

前岩愛児園園長

川口 龍雄様

平成三年七月十日逝去

川口 龍雄様

